

〔南海通紀七〕四國并近國錯亂記

土佐國ハ七郡ニシテ、上世七人ノ郡司アリ、其下ニ七十二人ノ國人士アリ、昔賴朝卿ノ御時、香美郡ノ住人夜須七郎行宗ト云者、源家ニ忠アル故ニ、香美長岡二郡ヲ賜テ鎌倉殿ノ仕承トシテ、國中ノ成敗ヲ掌シム、行宗ハ同郡ノ曾我部ヲ以テ臣トス、香美郡ニ居ルヲ香曾我部トシ、長岡郡ニ居ルヲ長曾我部トス、行宗世々ノ後、國務ニ惰リ、兩曾我部ヲ以テ七人ノ郡司ノ事ヲ掌シメテ、夜須氏ハ安佚ヲ旨トシ、國中ノ事ヲ與聞事ヲ不得シテ二郡ノ權ヲ失フ、爰ニ土佐ノ幡多郡ハ四國ノ要地ニシテ公領タリシガ、應仁亂ノ後、將軍家ノ奉行人ナクシテ國政行レズ、故ニ細川執事ノ計トシテ、大永元年ニ、一條房家公ヲ申下シ、幡多郡一萬貫ノ地ヲ獻ジテ土佐ノ國司ト定メ、七郡ノ旗頭各一條殿ノ命ヲ奉シム、○中略長曾我部○元略遺恨ヲ起シ、一條殿ノ命ヲ不用シテ、私ノ弓矢ヲ取起シ、本山、吉良、大比羅ヲ攻伏、竟ニ一國ヲ合吞シテ土佐ノ幡多ニ至ル、○下略

國府

〔倭名類聚抄五國郡〕土佐國國府在長岡郡、行程上三十日、下十八日、

〔土佐日記〕ある人あがたのよとせいつとせはて、れいのことゝもみなしをへて、げゆなどとりてすむたちよりい、ふねにのるべきところへわたる、

〔土佐幽考長岡郡〕宗部曾我部

比江、國分、八幡三村是也、○中略國分村國分寺在處、比江村古國府也、村後山在日吉社、故爲名、天正年中、秦氏地檢帳題當村作衙府中村、中有廳蹟、古瓦小片出其田底、土人謂其田字西有總社、近世遷國、分寺境内、村長有大礎石、受柱圓穴、亘二尺五寸、深三寸、於其中間又構小穴、亘五寸、深三寸、此處亦瓦片出、皆非近代物、往年里人掘出得菊花全紋瓦云、

〔倭名類聚抄五國郡〕土佐國○註管七○註安藝 香美加々美長岡奈加乎土佐 吾川波安加高崗乎加幡多波太

郡